

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【公開番号】特開2014-180445(P2014-180445A)

【公開日】平成26年9月29日(2014.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-053

【出願番号】特願2013-57097(P2013-57097)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月15日(2016.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体を撮像空間に搬送する搬送部と、  
 前記撮像空間に高周波磁場を発生させる高周波磁場発生部と、  
 前記撮像空間に傾斜磁場を発生させる傾斜磁場発生部と、  
 前記被検体から発生する核磁気共鳴信号を検出する受信部と、  
 前記受信部が検出した核磁気共鳴信号を用いて撮像画像を作成する画像生成部と、  
 生成された撮像画像を表示する表示部と、を含む装置構成部を有し、  
 前記装置構成部のそれぞれに電力を供給する電源装置と、  
 前記各装置構成部への電力供給を切り換える電源切替え装置とを備え、  
 前記電源装置の電力供給能力は、前記装置構成部の全部を稼働するのに必要な電力供給能力より少なく設定され、前記電源切替え装置は、撮像における各過程で稼働対象となる前記装置構成部に電力を供給するとともに稼働対象でない前記装置構成部への電力供給を停止するように電源切替えを行い、

前記電源切替え装置は、前記撮像画像の作成中に前記各装置構成部への電力供給、または停止を行う第 1 モードと、

前記各装置構成部の一部への電力供給を前記撮像画像の作成後においても継続して行う第 2 モードとを有することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 2】

前記装置構成部のそれぞれが必要な電力に関する情報は、予め記憶部に記憶されていることを特徴とする請求項 1 に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 3】

前記各装置構成部のうち、他の装置構成部と比較して装置立ち上げに時間を要する装置構成部に前記第 2 モードを適用し、緊急の検査に対応可能とすることを特徴とする請求項 2 に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 4】

前記傾斜磁場発生部に前記第 2 モードを適用することを特徴とする請求項 2 に記載の磁気共鳴イメージング装置。